

ICT教育とは、生徒へのタブレット端末の貸与や、電子黒板設置により学力向上を図る教育です。

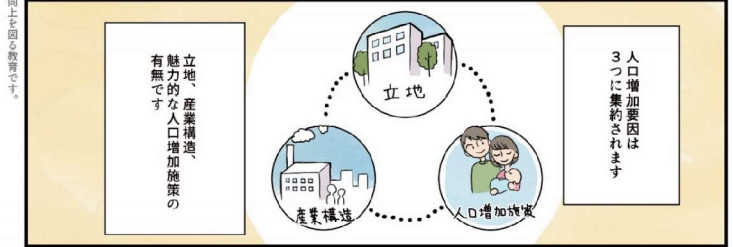
ICT教育推進  
給食費完全無料化  
奨学金返済補助制度

私は大学院に入り片山善博教授のもと1%以上人口増加を果たしている。全国196の市町村を調査分析しました

その答えは

どうすれば人口増ができるのか？

※ちなみに修士論文は「全国市町村における人口増加要因の分析」です



東上線沿線で、朝霞市、本本市、新座市、富士見市、ふじみ野市、川越市、東松山市、滑川町が人口増加を果たしていることを踏まえると

坂戸の立地は人口が増えてもおかしくないんです！

産業構造ですが、坂戸は昔から都内や他市への通勤者によって経済が支えられています

工場用地の余地もなく、地場産業だけで支えることは不可能です

施策で後押しするしかないんです！

唯一残された道は働く世代を増やし、税収を増やす方法です

このままでは坂戸は沈んでいってしまう！

今までこの街を支えてきたジイちゃん、ババちゃんの暮らしも大変なことになる...

もちろん簡単な事ではありません

僕はこの壁を果敢へ挑みます！

そし...

愛する地元を沈ませるわけにはいけません！

坂戸新時代を作ります！！

その他にも県政だからできることがあります。詳細はHPに

**県政コラム**

皆様は埼玉県議会で「原発再稼働を求める意見書」が、自民党県議団が主体となり提出され、可決されたことを存知でしょうか。

また議員一人当たり年600万支給されている。政務活動費のインターネット公開も、自民党県議団の先達により行われていまいせん。

現在、県議会の窓口申請しなければ閲覧することはできません。

坂戸市議会は年2千万の政務活動費です。坂戸市議会は年2千万の政務活動費です。

なぞ県議会で、こんなことが許されるのか。

県議会議員93人のうち自民党県議団は51人、第2会派の「立憲・国民・無所属の会」は9人と圧倒的な差があるからです。

私は多様な市民の声を県政に届けたいと考え、無所属で参議院議員に立候補しました。

1. 立憲・国民・無所属の会にて活動し、山田知博と連携し、坂戸市民にとって必要な政策、県民にとって正しいと思う政治の実現に邁進します。

1973年10月23日生まれ (45歳)

- 坂戸あずま幼稚園卒園
- 坂戸市立千代田小学校卒業
- 坂戸市立千代田中学校卒業
- 埼玉県立朝霞西高等学校卒業
- 明治学院大学卒業
- 坂戸理容美容専修学校卒業 (理容師)
- 立教大学大学院修了 (経営学修士)
- 早稲田大学大学院修了 (公共経営修士) (片山善博研究室)

・理美容室 (8店舗)、ドック美容室 (1店舗) 経営 ・学校法人北埼玉学園 グループ美容専門学校 経営

**ゆげ 勇人**  
YUGE HAYATO  
— 無所属 —

みなさん、ゆげ勇人です

みなさんは坂戸市がこれから急速な高齢化と働く世代の減少により、厳しい財政状況におちいることをご存知でしょうか？

財政が悪化すれば今行っている行政支援を維持することはできません

市は人件費の削減を行ってきましたが限界にあります

また企業誘致による税収増も困難です

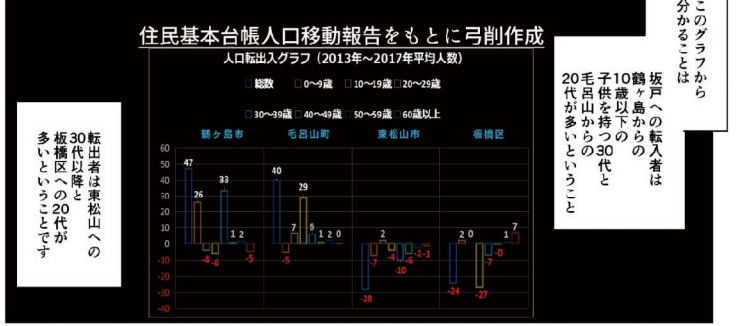
工業団地に空きは無く、周辺開発は進まず

開越道坂戸西インターで開発されている建物は物流倉庫なので見込み税収は少ないです

唯一残された道は働く世代を増やし、税収を増やす方法です

このままでは坂戸は沈んでいってしまう！

今までこの街を支えてきたジイちゃん、ババちゃんの暮らしも大変なことになる...



他市町村の実績から考えると、30代の子育て世代へはICT教育推進と給食費無料化、20代へは奨学金返済補助を、実施すれば良いんです

県内でICT教育に力を入れている市は、鴻巣市、富士見市、坂戸市、川口市、戸田市のみ

給食費の無料化は小田原市、滑川町と実施していない

奨学金の返済補助は一定期間の居住を条件にさえすれば、財源確保もできる

しかし市の考えは実行不可能なこと

「財源が足りない」「国・県の動向を見る」

でも

私ほそうは思いません！

市だけで実現不可能ならば、県の新たな事業として、この3つの施策を実施させ

県から補助金が出れば実現は可能です！